

定例会見（平成26年10月22日）

議事次第

○定例会見 代表取締役社長 菅原 秀夫

○会見内容

1. 中央環状品川線の開通時期
2. 大規模更新事業の手続き状況
3. 車両制限令違反車両に対する取締強化
4. スマートフォンアプリを用いたリアルタイム道路交通情報提供の開始
5. ハイウェイテクノフェア2014への出展
6. 技術コンサルティング事業の受注状況等
7. 「改善」の取組み ～質の高いサービスの提供を目指して～
8. 最近の通行台数状況

○質疑応答

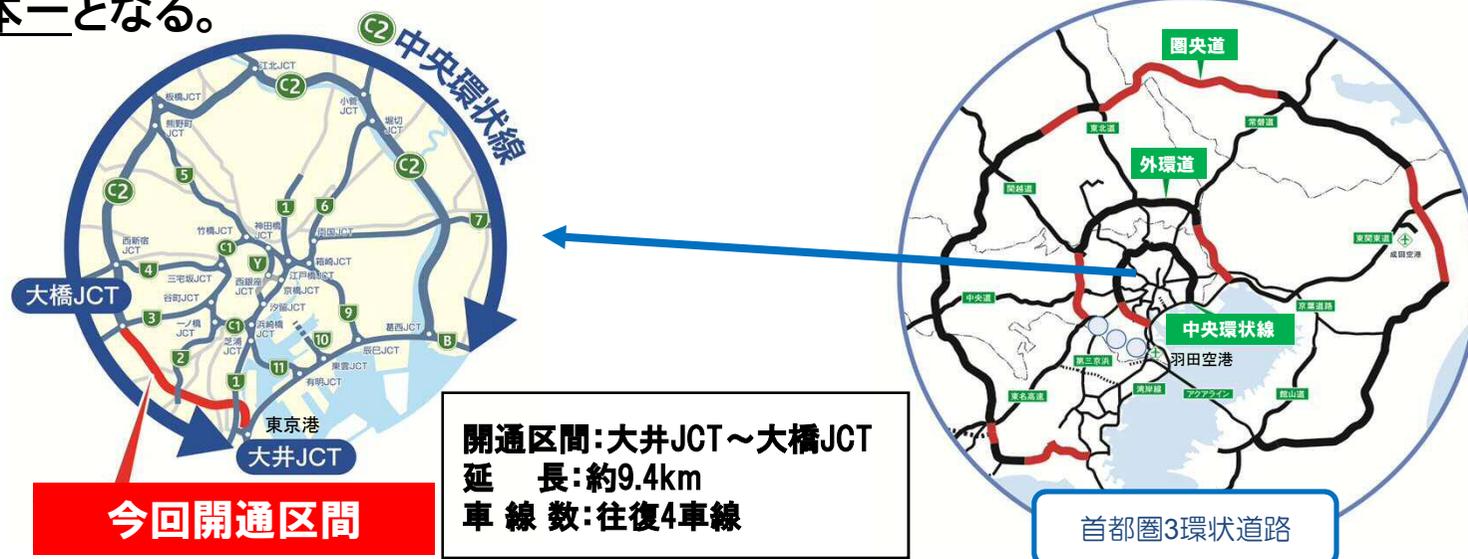
1. 中央環状品川線の開通時期について

東京都と共同で建設している「中央環状線山手トンネル(高速湾岸線～高速3号渋谷線)－中央環状品川線－」の工事が進み、2015年3月に開通することになった。

今回、高速湾岸線の大井ジャンクションから大橋ジャンクションに接続する約9.4kmがつながり、中央環状線が全線開通するとともに、首都圏3環状道路(首都圏中央連絡自動車道、東京外かく環状道路および中央環状線)の最初のリングが完成する。

これにより、首都圏の高速道路ネットワークが効率よく機能し、都心環状線などの慢性的な渋滞緩和や一般道路の混雑緩和、羽田空港や東京港などへのアクセス向上等が期待される。

なお、山手トンネルは今回の開通により全長約18.2kmとなり、これは道路トンネルとしては日本一となる。





大井ジャンクション



本線シールド部



五反田入口 街路分流部



大橋ジャンクション分合流部



大橋ジャンクション営業路線との接続部

2. 大規模更新事業の手続き状況

大規模更新事業については、早急に事業着手するため、事業実施のための手続きを進めているところ。

<事業実施のための手続き状況>

- ・ 地方公共団体※(本来道路管理者)の同意については、既に各議会の議決されたところであり、まもなく全地方公共団体より同意をいただく予定。
※(本来道路管理者:東京都・横浜市・川崎市・埼玉県・さいたま市・千葉県)
- ・ 今後、地方公共団体の同意が得られ次第、高速道路機構との間で協定変更を締結し、国土交通大臣あて事業変更許可の申請を行う。
- ・ このうち、高速1号羽田線(東品川棧橋・鮫洲埋立部)については、同時に都市計画変更の手続きを行っており、年度内の工事発注手続きに着手する予定。

【参考1】

首都高速道路の更新計画について (H26.6.25 国土幹線道路部会より)

区分	路線	対象箇所	延長	供用年度	事業費(税込) (用地費含む)	事業年度
大規模更新	1号羽田線	東品川棧橋・鮫洲埋立部	1.7km	S38	912億円	H26~38
		高速大師橋	0.3km	S43	244億円	H27~35
	3号渋谷線	池尻~三軒茶屋	1.5km	S46	648億円	H27~39
	都心環状線	竹橋~江戸橋 (日本橋区間)	2.9km	S39	1,412億円	H27~40
		銀座~新富町 (築地川区間)	1.2km	S37	559億円	H27~40
	小計	8km	—	3,775億円		
大規模修繕	3号渋谷線、4号新宿線 他	55km	—	2,487億円	H26~36	
合計			63km	—	6,262億円	



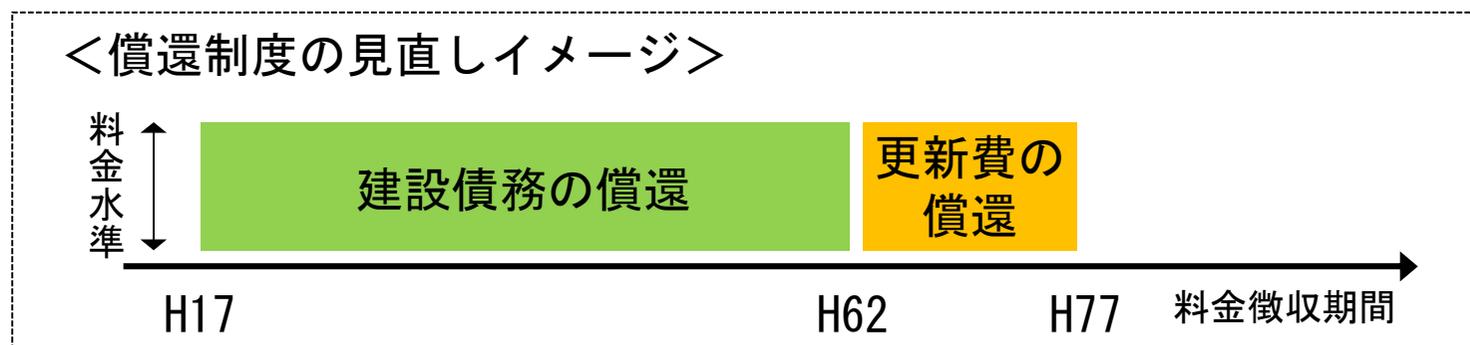
【参考2】

道路法等の一部改正について 改正：5月28日（施行：6月30日）

① 高速道路の老朽化に対応した迅速かつ計画的な更新事業を行うための法改正

- ・高速道路機構と高速道路会社間の協定と、高速道路機構の業務実施計画に、更新事業に関する事項を明記【高速道路機構法】
- ・更新財源を確保するため、15年間を上限とした料金徴収年限の延長
(平成62年→平成77年)

【道路整備特別措置法】



② 道路上部空間を活用した都市再生事業と高速道路維持更新事業との連携を図るための法改正

- ・立体道路制度の既存高速道路への適用拡大【道路法】

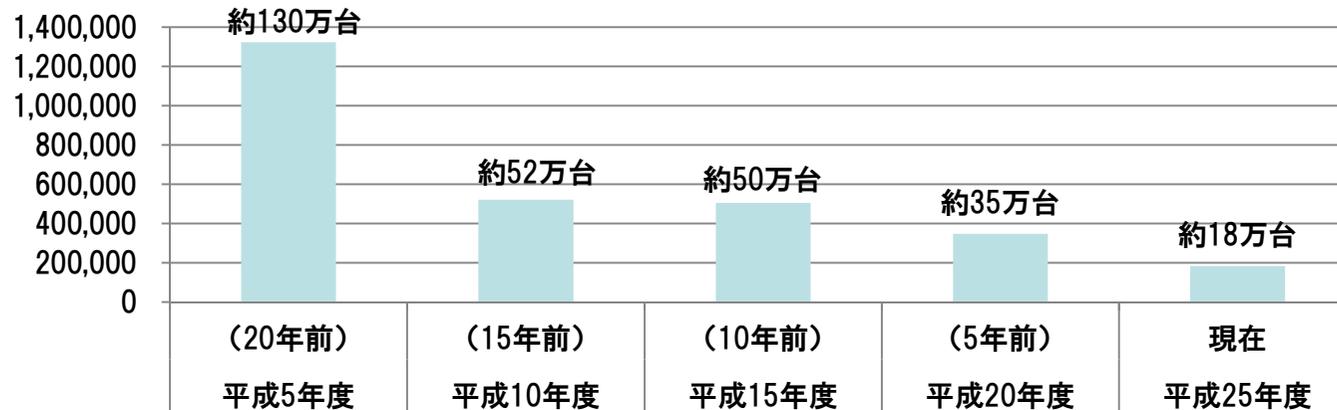
3. 車両制限令違反車両に対する取締強化

首都高では、交通安全上重大事故につながるおそれがあること、また、道路構造に著しい悪影響を及ぼすことから、車両制限令違反車両に対して取締を強化

[1]実施中の取締

- (1)現場における取締の実施(年600回以上)
- (2)自動軸重計カメラの画像に基づく警告の実施
- (3)反復違反者を対象とした講習会を開催(年1回)
- (4)講習会欠席者及び悪質違反者を対象とした個別訪問を実施
(平成24年度35者、平成25年度24者)
- (5)車両制限令違反を繰り返す会社を告発(平成24年度1件、平成25年度1件)

軸重(車両制限令における重量系の1項目)の違反車両台数の推移



※平成5年度から平成10年度の大規模な違反車台数減は、平成6年の道路交通法改正(過積載車両への罰則強化等)が大きく影響している。

3. 車両制限令違反車両に対する取締強化

[2]更なる強化策

首都高の過酷な使用の一因となっている重量違反者への取締を更に強化

(1) 国道と首都高の同時取締を実施

- ・平成26年度から新規に実施
(平成26年9月に1回、10月に1回実施済み)

(2) 重大な違反者は、積荷の軽減措置を実施

- ・平成26年度から新規に実施



首都高(川口本線)

国道4号(足立区平野)

H26.9.18 国道との同時取締実施状況

(3) 自動軸重計カメラ高度化等による警告対象の拡充

- ・連続撮影等の機能追加によるカメラの捕捉率向上や
軸重計の精度向上等により、警告対象車両は約10倍
に拡大

(4) 違反者講習会の頻度を年4回に拡充

- 違反者の動向を注視し、是正されない者は速やかに
告発を実施



H26.9.16 違反者講習会実施状況

首都高では、違反者の撲滅に向けて徹底した取締を推進

4. スマートフォンアプリを用いたリアルタイム道路交通情報提供の開始

道路交通情報サイト「mew-ti(みゅー・ていー)」によるリアルタイム道路交通情報の提供が9月10日から始まった。スマートフォンアプリを活用して多様な所要時間情報を提供するところが、「mew-ti」の大きな特徴である。現在までにアプリのダウンロード数が1万件に達するなど、ユーザーからの反響も大きい。

■ スマートフォンアプリ

- ① リアルタイムルート検索
- ② 道路交通情報
- ③ 所要時間案内(選択) …… 主要地点間の2つの経路の所要時間比較情報を表示
- ④ 図形所要時間情報 …… 図形所要時間情報板と同様の情報を表示
- ⑤ PAからの所要時間 …… 各PAから主要地点までの所要時間を表示



①画面



②画面



③画面



④画面



⑤画面

※ PCサイト・スマートフォンサイトでも、「リアルタイムルート検索」「首都高緊急情報メールサービス」などを提供

5. ハイウェイテクノフェア2014への出展

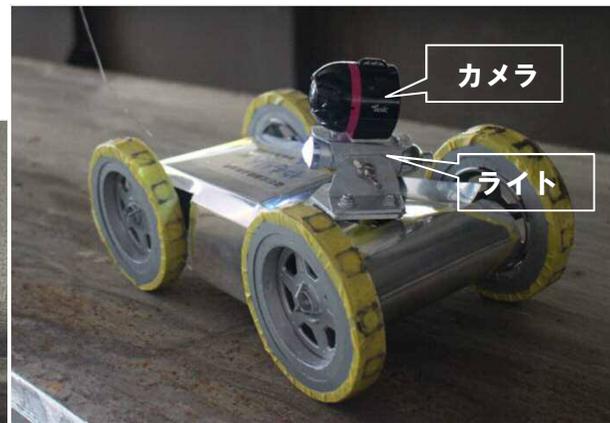
- ・ハイウェイテクノフェアは公益財団法人高速道路調査会の主催により開催。
- ・高速道路の建設管理技術に焦点をあてた展示会として、今年で11回目の開催。
- ・H22年度から首都高も参加しており、今回は5回目の出展となる。
- ・首都高グループの先進的な点検診断技術及び維持管理手法を幅広く紹介。

また来年3月に開通する中央環状品川線についてもPRを実施。

■開催日時:平成26年11月20日(木)、21日(金) 10:00~17:00

■開催場所:東京国際展示場(東京ビッグサイト)西3、4ホール

・展示物の一例



【磁石式鋼橋点検装置】

車輪にネオジム磁石を採用し鋼桁に密着し前後に移動しながら搭載したカメラで対象物を撮影することが可能
(特許出願手続き中)



電熱線ヒータ

【ETC車両検知器用融雪装置】

降雪時における料金所ETC車両検知器への着雪を防止できる脱着可能な融雪装置

【出展参加社】

首都高速道路株式会社、首都高技術株式会社、首都高メンテナンス西東京株式会社、首都高メンテナンス東東京株式会社、首都高メンテナンス神奈川株式会社、首都高電気メンテナンス株式会社、首都高ETCメンテナンス株式会社、首都高機械メンテナンス株式会社、一般財団法人首都高速道路技術センター

6. 技術コンサルティング事業の受注状況等

[1] 国内技術コンサルティング事業

(1) 新規受注状況

- ・ 国・地方公共団体等の橋梁点検、耐震補強設計等を23件受注。
- ・ 他に建物耐震診断業務を14件、新たに建物耐震補強設計を1件受注。

(2) 首都高速上の跨道橋の維持管理に関する協定の締結

当社では首都高上に架かる跨道橋の安全と首都高を走行するお客様の一層の安全確保のため、跨道橋管理者と維持管理について協力関係の構築を進めています。この度横浜市が管理する跨道橋19橋について同市と協定を締結。



首都高狩場線に架かる横浜市管理の跨道橋(出逢橋)

[2] 海外技術コンサルティング事業

(1) 新規受注状況

- ・ JICA発注のネパール国「ナグドゥンガ峠トンネル建設事業準備調査」等3件を受注。

発注者：国際協力機構（JICA）

業務名：ナグドゥンガ峠トンネル建設事業準備調査

工期：平成26年6月19日から平成27年3月27日まで

内容：首都カトマンズから国土を東西に貫く幹線国道の一部となるナグドゥンガ峠トンネルの事業計画を策定するものであり、当社はトンネルの運営・維持管理計画を担当。

(2) 海外からの視察・研修受け入れ（9月末）

16ヶ国から約340名の海外からの要人や技術者の視察・研修の受け入れを実施。

(3) 海外での活動状況

タイ国にてETCに関するセミナー（7月30日）及びインドネシア国にて交通安全フェア（7月18日）をそれぞれ実施。



タイ国におけるETCセミナー



インドネシア国における交通安全フェア

【参考】

平成26年度 国内技術コンサルティング受注実績（受注件数23件）

※建物耐震診断業務を除く

No.	件名	発注者	契約期間	実施者
1	工事調整支援業務(建築)(26二-品川線)	東京都建設局 第二建設事務所	H26.4.1～H26.6.30	首都高速道路(株)
2	工事調整支援業務(電気)(26二-品川線)			
3	工事調整支援業務(機械)(26二-品川線)			
4	工事調整支援業務(建築)(26二-品川線その2)		H26.7.1～H26.11.30	
5	工事調整支援業務(電気)(26二-品川線その2)			
6	工事調整支援業務(機械)(26二-品川線その2)			
7	浦安市道舞浜連絡路巡回点検業務	浦安市	H26.4.1～H27.3.31	首都高技術(株)
8	橋梁健全度調査等委託	中央区	H26.4.1～H27.3.31	
9	平成26年度東京ゲートブリッジ橋梁点検委託	東京都港湾局 東京港管理事務所	H26.4.1～H27.3.31	
10	H26品川・代々木管内橋梁点検業務	関東地方整備局 東京国道事務所	H26.5.1～H27.3.31	
11	花畑大橋耐震補強等設計業務委託	足立区	H26.5.19～H27.2.13	
12	橋梁定期点検(川崎市)業務委託	川崎市	H26.7.31～H27.3.15	
13	五之橋設計委託(詳細)	港区	H26.8.1～H27.2.27	
14	平成26年度首都高速道路路上に架かる横浜市が管理する橋梁の定期点検業務委託	横浜市道路局	H26.9.5～H27.3.17	
15	平成26年度大井中央陸橋橋梁点検調査委託	東京都港湾局 東京港管理事務所	H26.10.6～H27.3.20	
16	鋼橋疲労損傷に関する講習会(指導者育成・実務者育成)	(一財)橋梁調査会[JBEC]	H26.5.12～H27.3.31	
17	平成26年度レインボーブリッジ橋梁点検委託	東京都港湾局 東京港管理事務所	H26.4.1～H27.3.31	
18	平成26年度レインボーブリッジ橋梁点検委託(その2)		H26.10.1～H27.3.31	
19	インフラ状態モニタリング用センサシステム開発	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 [NEDO]	H26.7.3～H27.3.20	
20	インフラ維持管理用ロボット技術・非破壊検査装置開発	富士フィルム	H26.7.3～H27.3.17	
21	ソーシャル・ビッグデータ活用アプリケーションの研究開発	(独)情報通信研究機構[NICT]	H26.7.15～H28.3.31	
22	H26管内橋梁補修補強技術検討その1業務	関東地方整備局関東技術事務所	H26.8.6～H27.3.20	
23	H26管内橋梁補修補強技術検討その2業務		H26.8.6～H27.3.20	

平成26年度 海外技術コンサルティング受注実績（受注件数3件）

No.	相手国	件名	発注者	契約期間	契約者
1	タイ	交通管制システム更新詳細設計審査業務	DMT	H26.5～H26.10	首都高速道路(株)
2	インドネシア	タンジュン・プリオクアクセス道路建設事業プロジェクト	インドネシア 公共事業省	H26.6～H26.8	首都高速道路(株)
3	ネパール	ナグドゥンガ峠トンネル建設事業準備調査	JICA	H26.6～H27.3	建設技術インターナショナル・トーニコンサル・首都高・オリエンタルコンサルタンツJV

7. 「改善」の取組み ～質の高いサービスの提供を目指して～

首都高速道路(株)では、「お客様第一」の経営理念に基づき、お客様にご満足いただける質の高いサービスの提供を目指す。

[1] 「お客様の声」による改善

ホームページに設けた「グリーンポスト」、電話でのお問い合わせ窓口「首都高お客様センター」などを通じて、お客様から頂いたご意見を基に改善を実施。

平成26年4月～9月は、お客様から頂いた施設等の改善要望に関するご意見に基づき166件の改善を実施。

[2]お客様からお寄せいただいた「お客様の声」は施設などの改善に反映

事例	分類	箇所	お客様の声	対応	完成時期
①	情報提供	川口線 鹿浜橋入口	環七通りと交差する尾久橋通り(日暮里から草加方向)の交差点(江北陸橋下)手前に鹿浜橋入口の案内標識を設置してほしい	入口案内を強化するため一般街路標識に「首都高」案内を追記	H26.5
②	情報提供	中央環状線(外) 初台南出口手前	大橋JCT方面から中央道への案内が分かりにくい	初台南出口手前の案内標識の変更及び路面標示を追加	H26.5
③	P A	6号向島線 箱崎PA	箱崎PAの二輪車の駐車スペースが分かりにくい	二輪車用の駐車スペースに案内看板を設置	H26.6
④	快適性	6号向島線(上) 7号小松川線(上) 両国JCT合流	6号向島線(上)から両国JCT手前の合流部(2車線→1車線)先端付近で1台ずつ交互に合流させるマナー文を掲載した看板を設置してほしい	無理な割り込み防止のため「ゆずり合い」等のマナー看板を6号向島線(上)、7号小松川線(上)に設置	H26.7
⑤	P A	神奈川5号大黒線 大黒PA	駐車スペースから施設までの間の路面が何か所も凹んだ場所があり、歩きにくいので補修してほしい	計画的に補修しているが当該部を先行して補修	H26.8

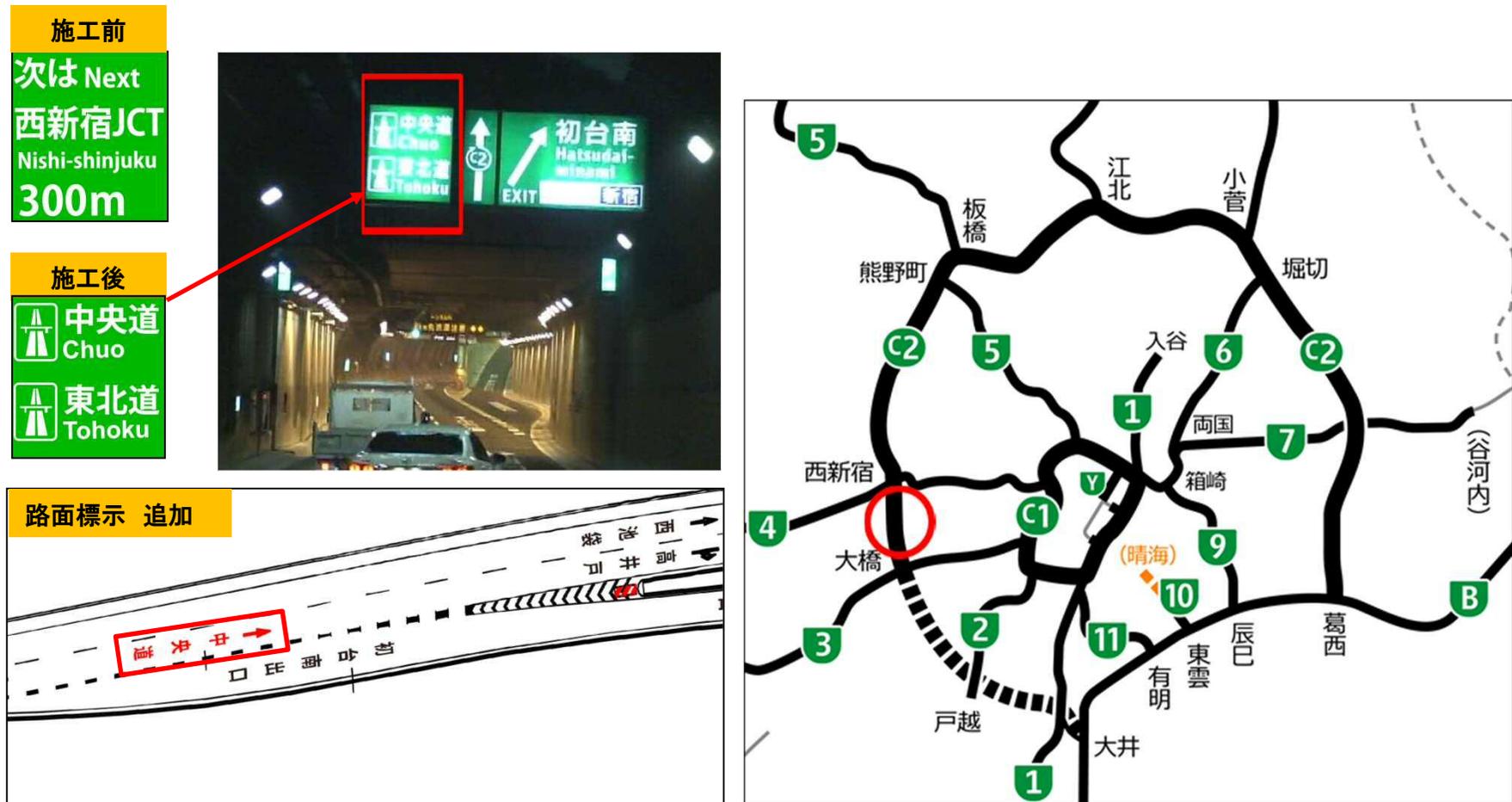
改善事例①

川口線鹿浜橋入口案内強化のため、一般街路標識に「首都高」案内を追加



改善事例②

中央環状線(外)初台南出口手前の案内標識変更及び路面標示追加により中央道の案内を改善



改善事例③

6号向島線箱崎PA内二輪車用の駐車スペースに案内看板を設置



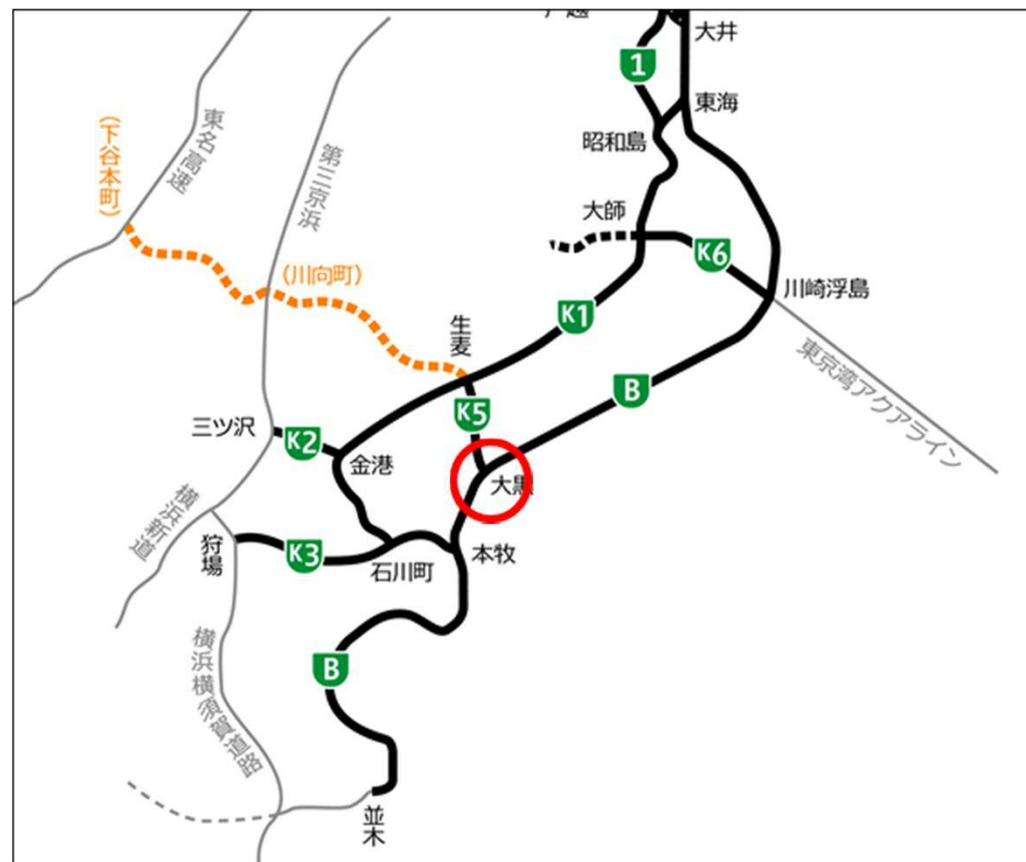
改善事例④

6号向島線(上)、7号小松川線(上)から両国JCT手前合流部に、
割り込み防止のため「ゆずり合い」等のマナー看板を設置



改善事例⑤

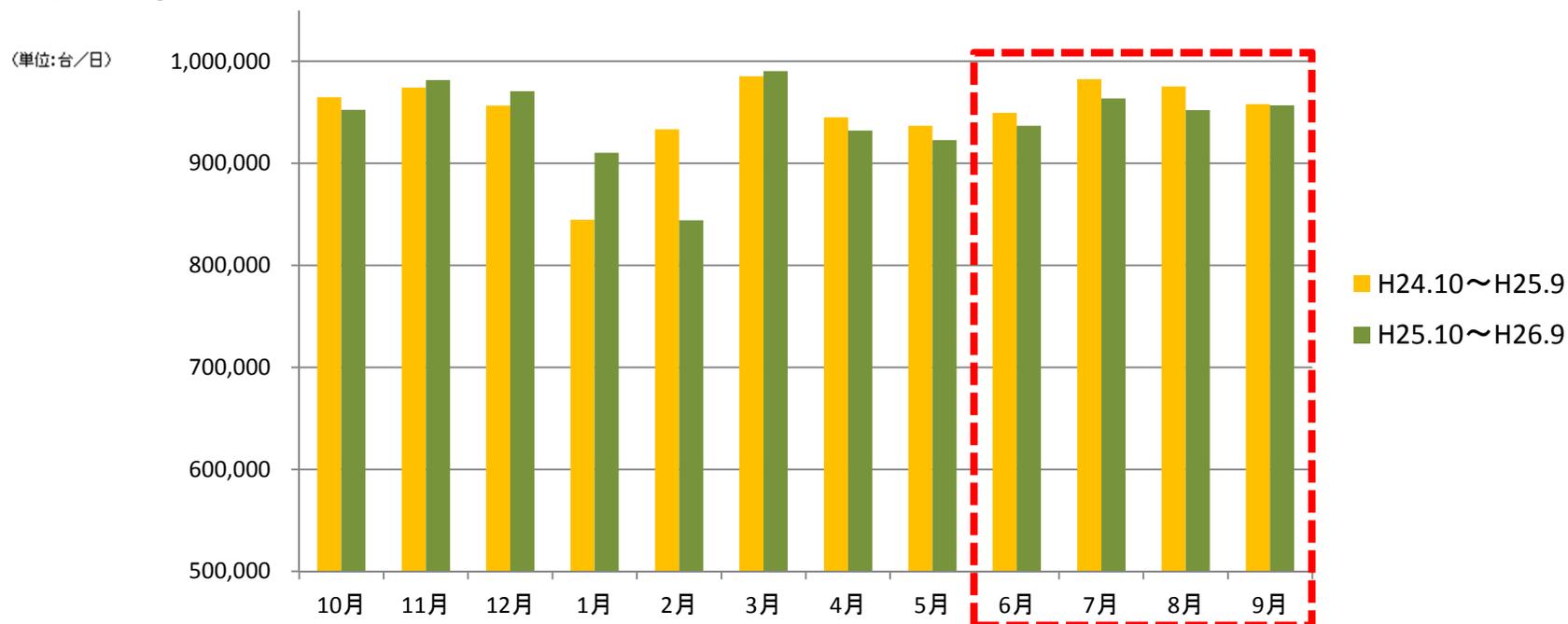
神奈川5号大黒線大黒PA内の駐車スペースの路面を補修



8. 最近の通行台数状況

通行台数の推移(最近の状況)

- 4月以降は、前年同月と比べて減少しており、台風や大雨など天候不順の影響等と推測される。



※9月は速報値

	6月	7月	8月	9月
通行台数(台/日)	936,834	963,605	952,190	956,959
前年同月比	98.7%	98.1%	97.6%	99.9%